

『自衛権・憲法・天皇制』：P 381「戦後(左圖)は、その(農民生活の)リズム(E)によつて制定された祭日(Eの至大化)といふものを全部崩しちやつた(Eの至小化)わけです」⇒「さうなると、天皇が一人で皇居の中で祭司(△B⇒C)をやつてゐても、國民生活の中にはリズム(E)が崩れちやつてゐる(Eの至小化)から、天皇の行爲(儀式化:Eの至大化)は國民生活の面からその意味でも浮き上がってしまった(Eの至小化)。(中略)日本文化(D1)の體現者(Eの至大化=D1の至大化)とは言へなくなつて、浮き上がった存在になつてしまつてゐる」⇒「天皇のなさつてゐることが、間違つてゐるのじやなくて、日本固有の文化(D1)を否定しまつた(D1の至小化)政治(A'⇒A)の在り方が間違つてゐる(近代化適應異常)と思はなけりやならない」⇒(中略)「天皇(△梓)の生活(Eの至大化)とつなげるやうな形(E)で、私は日本の社會構造を再編成(参照PP圖:天皇)する必要があると思ふんです」⇒(中略)「天皇がなさつてゐる公的な行爲(Eの至大化)の中にこそ、日本の歴史(C)と文化(D1)が繼承(D1の至大化)されてゐることは疑いないんだから」。

《恒存主張:戦後(左圖)の文化崩壊(衰退?)を復興させる手立て(右圖化)》

\* P381 (戦前の)「リズム(E)によつて制定された祭日(Eの至大化)といふものを全部崩しちやつた(Eの至小化)のが戦後(左圖)」⇒「戦前の祝祭日・正かな正漢字(Eの至大化)を復活させる」⇒即ち「右記(右圖)の天皇(△梓)の日常生活と合致させる」⇒何故なら「天皇がなさつてゐる公的な行爲(型儀式:Eの至大化)の中にこそ、日本の歴史(C)と文化(D1)が繼承(D1の至大化)されてゐる(右記右圖)ことは疑いないんだから」。

\* P381「天皇(△梓)の日常生活...「祭司(△⇒C)のやうな役割がありますね。これは神道(C)によるもので、(中略)農民生活のリズム(E)をそのまま儀式化(Eの至大化)したもの」⇒「この農民生活のリズム(E)は四季の移り變り(C自然=空間的全體感)に即したものだから、日本に住んでゐる以上は都會生活者にとつても、さう本質的にかけ離れた様式(E)じゃない」.\*「そのリズム(E)によつて制定された祭日(Eの至大化)」.\*「日本文化(D1)の體現者(Eの至大化=D1の至大化)」.\*「天皇が一人で皇居の中で祭司(△B⇒C)をやつてゐる」。

